

久米島で学んだ漁業技術を自国で活用したい

JICA 青年研修 資源管理型漁業コース

12月3日～7日の5日間、JICA 青年研修として、5カ国13人が久米島で行われている漁業生産の技術を学びに訪れました。

研修では、モズク、車エビ、アーサの養殖やパヤオを利用したマグロ・カツオ・シイラ漁を体験しました。

最終日には、久米島で学んだことの発表と地元の小学生との交流を兼ねて、研修員によるパラオの資源管理の取り組みについて紹介がありました。

研修員からは、「とても美しい島で人々が温かく親切。学んだ多くのことを自国で活用したい」と感想が述べられました。



日本一の生産量を誇る久米島車エビを全国発送

日本一の久米島車エビフェスタ

11月22日、仲里漁港にて「久米島車エビフェスタ」が開催されました。久米島車エビ拠点産地協議会の宮里会長は、「今年度も台風の影響により、生産量の見込みが188トンと減産し、厳しい状況が続いている。来期は例年の生産量250トンを目指し5業者、団結して頑張っていきたい。また、海洋深層水のウイルスフリーで育つ安心安全である久米島の車エビをたくさんPRしていきたい」と意気込みを話しました。イベントでは出荷式が行われ、冷凍車エビの販売には、いち早く久米島の車エビを手に入れようと来場者が長い列を作り並びました。



平成27年度 生命保険協会沖縄県協会 福祉物品(AED)寄贈式

AEDの寄贈

久米島町社会福祉協議会へAEDの寄贈

12月9日、一般社団法人生命保険協会沖縄県協会より久米島町社会福祉協議会へAED(自動体外式除細動器)の寄贈がありました。

生命保険協会では地域貢献活動の一環として募金活動が行われており、県内の生命保険会社職員約2550名から集められた募金を財源に県内の市町村社会福祉協議会へ福祉巡回車やAEDを贈られています。

町社会福祉協議会儀間光明会長は「高齢者や障がいのある方が集まる機会も多く、地域住民を支える安心・安全な福祉活動の備えとして大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

大雨にも負けず島の特産品を楽しむ

第14回久米島町産業まつり

12月6日、第14回久米島町産業まつり「関連ページp14」が開催されました。

今回は、飲食に山羊組合による山羊汁の販売、久米島商工会からは、紅イモを使って商品開発されたドリンクやアイスの試食など新しい取組みが見られました。お昼過ぎから大雨になるなど、あいにくの天候となりましたが、新鮮野菜や花木等、島の特産品を手に入れようと開会前から多くの町民が買い物に訪れました。



島のまーさむんと感動あふれる組踊りを楽しむ

沖縄タイムスふるさと元気応援企画

12月11日～13日の3日間、那覇市久茂地のタイムビルで「久米島町観光・物産と芸能フェア」が開催されました。

3回目を迎えるこのフェアも特産品販売では、人気の車エビが完売する等、例年通りの大反響で、他、生産量の上がっている紅芋の新商品をはじめ、豊富な品揃えで来場者を迎えました。

2階ギャラリーでは、久米島紬や風の帰る森プロジェクトが展示を行いました。芸能では、中・高生による現代版組踊「笠末若茶良」の力強く堂々とした演技や踊りに拍手がなりやまないほど感動の渦に巻き込まれました。



島人のおもてなしと名産物を堪能

シュガーライド久米島2015

第5回シュガーライド久米島が11月21日に開催され、県内外より延べ87名が参加し「アスリートコース90km」や「ぐるっと1周コース45km」を駆け抜けました。島内サイクリングチーム「クメンズ+」のメンバー8名がサイクルリーダーを務め、エイドステーションには久米島の特産品が並び、参加者をもてなしました。

22日には「島人と巡るポタリング&車エビフェスタ」が開催され、島の名物ガイドによる案内でポタリングを楽しんだ後、車エビも堪能しました。



15年かけて実用化までたどりつきました

海洋深層水利用功績表彰

「海洋深層水の冷熱エネルギーを利用した亜熱帯環境での寒冷地農作物の新しい栽培技術確立と事業化への貢献」が讃えられ、沖縄県海洋深層水研究所の兼島盛吉さんが海洋深層水学会より表彰されました。

兼島さんは、ハウレンソウを使って、海洋深層水の冷熱エネルギーによる根域冷却栽培実験から周年栽培技術を確立しました。他作物、花卉類でも生産方法を示し、海洋深層水を利用することで栽培不可能な時期や場所での栽培を可能にすることや少ない費用負担で事業実施が可能になること等、海洋深層水の利活用のあり方として、新たな取り組みであることと費用対効果をしっかりとみつめた事業化実現が評価されました。

久米島の美しい風景が海外ドラマに

香港テレビドラマ「巨輪II」久米島ロケ

香港の人気テレビ局TVBが来年秋放送予定の「巨輪II」の撮影を12月1日～4日にかけて久米島で行いました。フェリー琉球の船内で撮影をしながら主演の俳優、女優やスタッフなど、関係者54人が久米島入りをしました。

今回、沖縄観光コンベンションビューローのサポート事業を受け、沖縄の歴史・文化・自然等の情報発信につながる作品となっており、久米島では美しい自然のほか、車エビや海ぶどう、紅芋などの農水産物を取り上げています。高視聴率を出した「巨輪I」に続く話題のドラマであり、香港をはじめ、アジアにおいて幅広く久米島のPRにつながる事が期待できます。

